

6月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
ブティック	池井戸 潤	銀行に見限られた男が、M&A最前線で巨悪に挑む！裏切り、陰謀、買収合戦——企業の命運を賭けた攻防戦の先にあるのは、人の誇りか、欲望か。半沢に続く新ヒーロー誕生！池井戸潤が放つ、熱狂の“M&Aバトル”！
ジオフェンス 蔦谷昂一郎の捜査録	浅沢英	裁判はしない。1つの誤認逮捕をきっかけに「規格外」の弁護士が誕生！型破りな弁護士ミステリ。自分の顔が犯罪者に使われたら？あなたの車がもしコントロールされていたら？犯人を追い詰める目に見えない境界線とは？完全に他人に成りすます方法、あります。蔦谷に捜査依頼が入る。
家康と七人の忍び	佐藤賢一	特殊能力を持つ伊賀者たちが、徳川家康を守るべく活躍。織田信長、死す。突如として明智光秀らに追われる身となった、信長の盟友を襲う数々の危難——。襲撃者は甲賀者か。彼らを雇うのは光秀なのか、それとも……。家康らの決死の逃避行を描く、血湧き肉躍る歴史アクション！
アイ・ウォント・トゥ・ホールド・ユア・ハンド 東京バンドワゴン	小路 幸也	花陽と麟太郎の結婚式も終わった夏の終わり。お世話になったロンドン警視庁のジュン・ヤマノウエが、ハネムーンで来日。そんななか、研人がCMソングで共演した小松稚奈さんの日暮里にある実家から、有名イギリス人画家の行方不明になっていた絵画が見つかった。
猫君 りんねの輪	畠中 恵	二十年生きた猫は、人に化けて言葉を操る妖怪「猫又」となる——。茶虎のみかんは、仲間と力をあわせて様々な難関を乗り越えて無事、二年生に進級した。ところが猫宿の長（おさ）が惨殺される恐ろしい凶事が起きて……。強大な“敵”と猫又二年生たちとの明日を賭けた戦いが今、始まる。
ネタバシあり 双紋島の殺人	下村敦史	「島での最初の犠牲者は名探偵」「登場人物の一人は偽名」「島では四人が殺される」「共犯者がいる」など、巻頭に書かれた7つのネタバシ。嵐に閉ざされた孤島で起こる連続殺人を描いた作中作「ミステリーの常識が崩壊する、前代未聞の“読者への挑戦状”」。
眠れぬおまえに遠くの夜を	桐野 夏生	“ナダンの話に興味を持つ人は、そう多くはないはずだ。彼はあっという間にアイドルとして頂点を極め、俳優としても才能を認められた。だが、十五年後には、何もかも失っていた。これは、ナダンが驚くべき速さで成功を収め、これまた驚くべき速さで凋落していった物語でもある。”

しりとりきんちゃく

玉田 美知子

しりとりきんちゃくは
「しりとり」でつながるものを つぎつぎとおいかけ
て なかにいれてしまうんだ。
しりとり「り」から はじまると つぎは「りん
ご」がつかまり… つぎはいったい どうなるの!?

出版社HPより

- 【お知らせ】 月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。
- NHKテレビテキスト「囲碁講座」「すてきにハンドメイド」
 - 「ESSE」

